

【未来を担う教育・人づくり戦略】

●施策5-1の代表指標

①高校生の県内就職率(公私立、全日制・定時制)

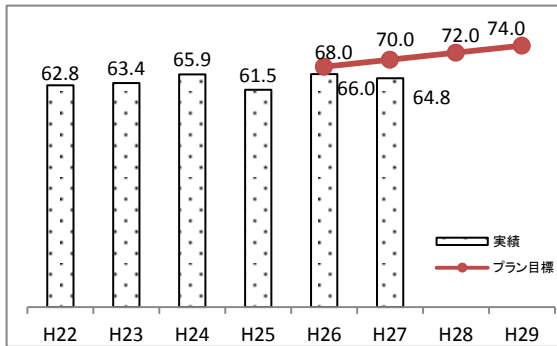
■年度別目標

H27達成率(92.6%)

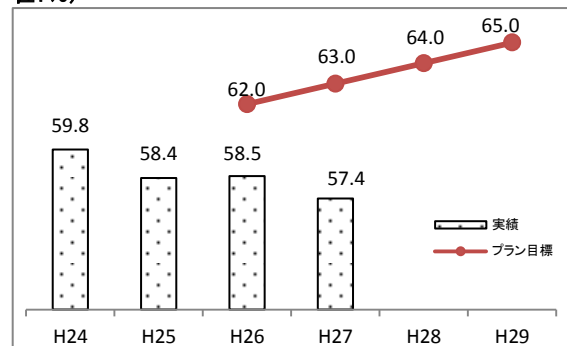
(単位: %)

| | 基準値(H24) | H26 | H27 | H28 | H29 |
|-----|----------|------|------|------|------|
| 目標値 | 65.9 | 68.0 | 70.0 | 72.0 | 74.0 |
| 実績値 | | 66.0 | 64.8 | — | — |

代表指標の推移



(参考) 関連指標・高校生(公立)のインターンシップ参加率(単位: %)



代表指標の達成度に関する分析

・高校生の県内就職率(公私立、全日制・定時制)は、早期求人要請等の成果による早い段階での地元求人の増加や就職支援員による求人開拓などにより、9月段階での県内就職希望者は年々増加しているが、求人状況が好調な際は県外就職が増加する傾向にあることから、平成26年度比1.4ポイントの減となり、目標を達成できなかった。

・早期求人要請と就職支援員等による求人開拓の成果により、9月段階の求人は年々増加傾向にあるほか、全ての県立高校で「ふるさと企業紹介事業」を実施することにより、地元企業に対する理解が進んでいる。こうしたことから、引き続き地元就職の拡大に努めていきたいと考えている。

(県内就職率64.8%(学校基本調査) 県内求人数3,684人 有効求人倍率 2.37倍(秋田労働局))

・関連指標の公立高校2学年在籍者のインターンシップ参加率は57.4%で平成26年度比1.1ポイント減となった。実施校は50校(県立全日制42校(分校2校を含む。)、公立全日制2校、県立定時制6校)で、平成26年度比で2校増加したが、進学校ではボランティア活動に参加する生徒も多く、目標を下回った。なお、定時制課程では全学校でインターンシップを実施している。

・平成28年度は実施予定校48校(県立43校(分校2校を含む。)、公立全日制2校、定時制3校)で、参加率は62.5%と昨年度よりも増加が見込まれる。

【未来を担う教育・人づくり戦略】

●施策5-2の代表指標

①県学習状況調査における通過割合(正答率が設定正答率以上の問題数の割合)

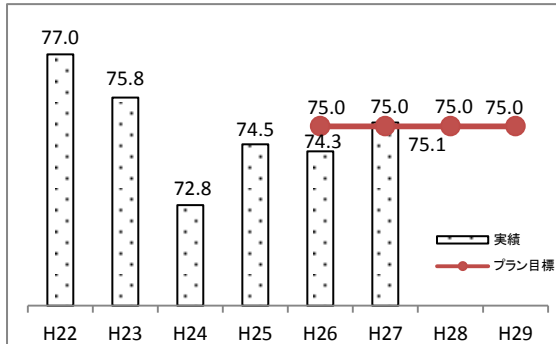
■年度別目標

H27達成率(100.1%)

(単位:%)

| | 基準値(H24) | H26 | H27 | H28 | H29 |
|-----|----------|------|------|------|------|
| 目標値 | 72.8 | 75.0 | 75.0 | 75.0 | 75.0 |
| 実績値 | | 74.3 | 75.1 | — | — |

代表指標の推移



代表指標の達成度に関する分析

・平成27年度県学習状況調査において、中学校の国語、数学にやや課題が見られたが、特に理科について改善の傾向が顕著であったことが目標を達成した主な要因である。全体として比較的良好な状況にある「知識・理解」「技能」等の習得については、引き続き定着を図っていき、「思考力・判断力・表現力」等の育成については、更なる改善が必要である。

・課題が見られた教科について改善の方策を各学校に示していくとともに、全国学力・学習状況調査、県学習状況調査、高校入試を一体として捉えた県独自の検証改善サイクルを一層機能させていく。

【未来を担う教育・人づくり戦略】

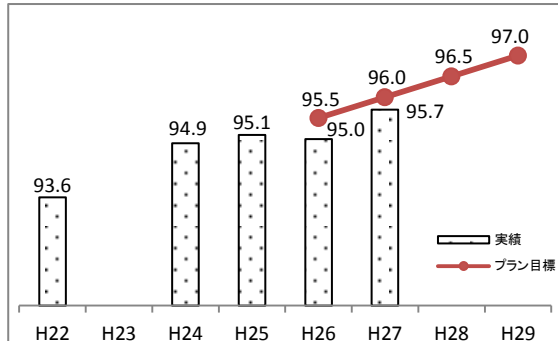
●施策5-3の代表指標

①学校のきまり(規則)を守っている児童生徒(小6、中3)の割合※小6と中3の平均値

■年度別目標 H27達成率(99.7%) (単位: %)

| | 基準値(H25) | H26 | H27 | H28 | H29 |
|-----|----------|------|------|------|------|
| 目標値 | 95.1 | 95.5 | 96.0 | 96.5 | 97.0 |
| 実績値 | | 95.0 | 95.7 | — | — |

代表指標の推移



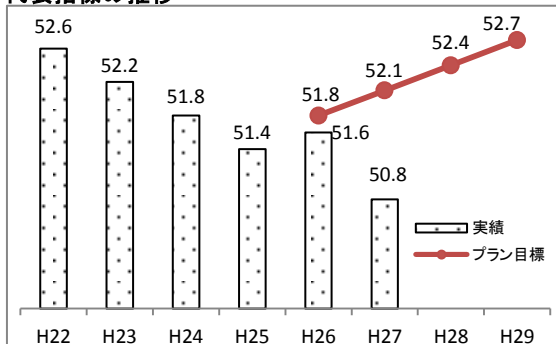
※平成23年度は調査を実施せず

②新体力テストにおける小・中・高の偏差値の平均

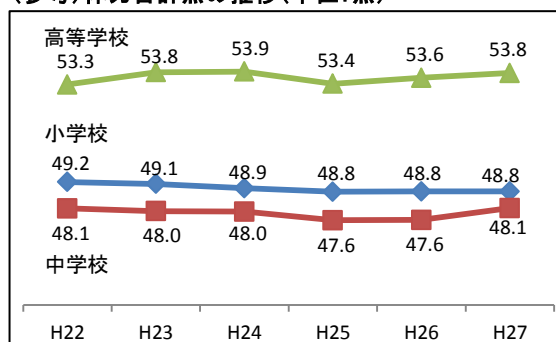
■年度別目標 H27達成率(97.5%) (単位: %)

| | 基準値(H25) | H26 | H27 | H28 | H29 |
|-----|----------|------|------|------|------|
| 目標値 | 51.4 | 51.8 | 52.1 | 52.4 | 52.7 |
| 実績値 | | 51.6 | 50.8 | — | — |

代表指標の推移



(参考)体力合計点の推移(単位: 点)



代表指標の達成度に関する分析

【代表指標①】学校のきまり(規則)を守っている児童生徒(小6、中3)の割合

・全国学力・学習状況調査の開始年度の平成19年度から27年度までの間で、平均値で5.1ポイント(小学校が3.9ポイント、中学校が6.3ポイント)上昇しており、概ね満足できる結果である。また、全国平均値と比較しても、小学校で3.2ポイント、中学校で2.6ポイント上回るなど、良好な状況である。

・こうした状況が維持できるよう、規範意識の醸成に資する道徳教育の充実を始め、平成27年度に作成した「秋田わか杉 七つの『はぐくみ』」を核とした家庭、地域社会との連携・協働を推進していく。

【代表指標②】新体力テストにおける小・中・高の偏差値の平均

・小・中・高の偏差値の平均値では全国平均値が上がったことなどから平成26年度よりも下回ったものの、その算出の基となる体力合計点においては、全ての校種において上回るか横ばいで推移しており、良好な状況である。

・外部指導者を活用した授業づくりの支援や、教員への研修を中心とした体力向上のための総合的な取組の支援、更には冬期間の体力向上と健康の維持・増進に関わる支援等を行うことで、授業や業前・業間運動の充実、指導者の指導力の向上を図り、一層の体力の向上につなげる。

【未来を担う教育・人づくり戦略】

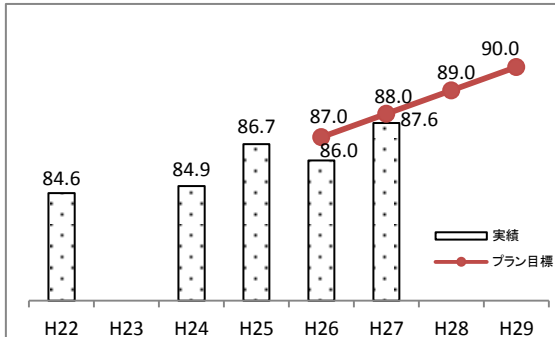
●施策5-4の代表指標

①授業の内容がよく分かると思う児童生徒の割合(小6)※国語と算数の平均値

■年度別目標 H27達成率(99.5%) (単位: %)

| | 基準値(H25) | H26 | H27 | H28 | H29 |
|-----|----------|------|------|------|------|
| 目標値 | 86.7 | 87.0 | 88.0 | 89.0 | 90.0 |
| 実績値 | | 86.0 | 87.6 | — | — |

代表指標の推移



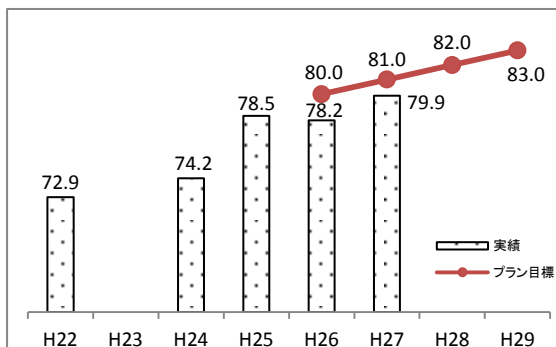
※平成23年度は調査を実施せず

②授業の内容がよく分かると思う児童生徒の割合(中3)※国語と数学の平均値

■年度別目標 H27達成率(98.6%) (単位: %)

| | 基準値(H25) | H26 | H27 | H28 | H29 |
|-----|----------|------|------|------|------|
| 目標値 | 78.5 | 80.0 | 81.0 | 82.0 | 83.0 |
| 実績値 | | 78.2 | 79.9 | — | — |

代表指標の推移



※平成23年度は調査を実施せず

代表指標の達成度に関する分析

・授業の内容がよく分かると思う児童生徒の割合については、小学校87.6%は6.1ポイント、中学校79.9%は7.0ポイントと、ともに全国平均値を上回っている。また、調査開始の平成19年度と27年度の伸び率を比較すると、小学校の国語7.3ポイント(全国4.0ポイント)、算数7.9ポイント(全国3.9ポイント)、中学校の国語14.6ポイント(全国8.9ポイント)、数学13.4ポイント(全国8.0ポイント)と全てで全国平均値を上回っている。

・「わかる・できる授業」の構築のための具体的な手立てを、「学校教育の指針 平成28年度の重点」や「平成28年度学校改善支援プラン」、学校訪問指導等で各学校に示していく。

【未来を担う教育・人づくり戦略】

●施策5-5の代表指標

①地域で活動する行動人(こうどうびと)の人数(累積)

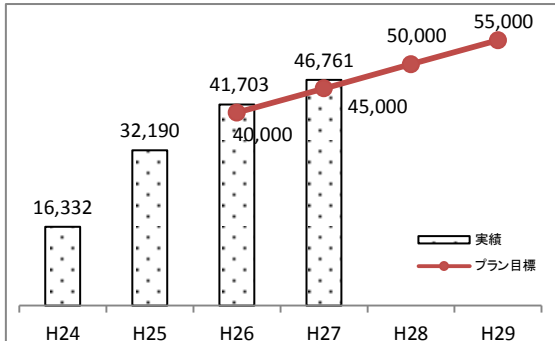
■年度別目標

H27達成率(103.9%)

(単位:人)

| | 基準値(H24) | H26 | H27 | H28 | H29 |
|-----|----------|--------|--------|--------|--------|
| 目標値 | 16,332 | 40,000 | 45,000 | 50,000 | 55,000 |
| 実績値 | | 41,703 | 46,761 | — | — |

代表指標の推移



代表指標の達成度に関する分析

- ・平成24年度から、県民総「行動人」推進事業の中で、「学んだことを行動に結び付け、社会に貢献しようとする人を『行動人』」としてWebで紹介しており、その人数を指標としている。
- ・平成26年度は累積40,000人、平成27年度は累積45,000人を目標として周知等に努めた結果、「行動人」が全県的に認知されつつあり、市町村からの情報提供も増え、目標達成につながった。
- ・平成28年度においても紹介した「行動人」の人数は順調に増加しており、目標値50,000人は達成できる見込みである。行動人Web自体が「目に見える人材バンク」的な要素を持ち、各種行事や講演での講師の依頼等についての問い合わせが増えている。こうした「行動人」に対する需要が、新たな「行動人」の紹介にもつながっており、今後も紹介人数の増加、目標達成に向けて市町村等との連携を推進していく。

【未来を担う教育・人づくり戦略】

●施策5－6の代表指標

①県内高等教育機関(7大学・4短大)の志願倍率

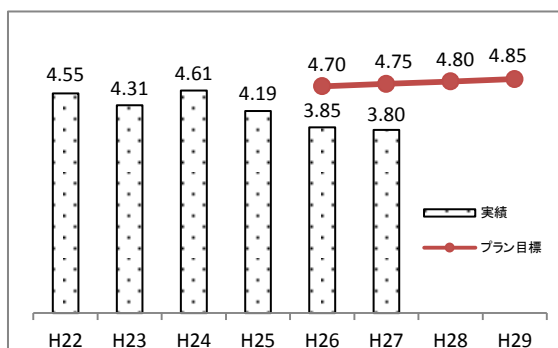
■年度別目標

H26達成率(80.0%)

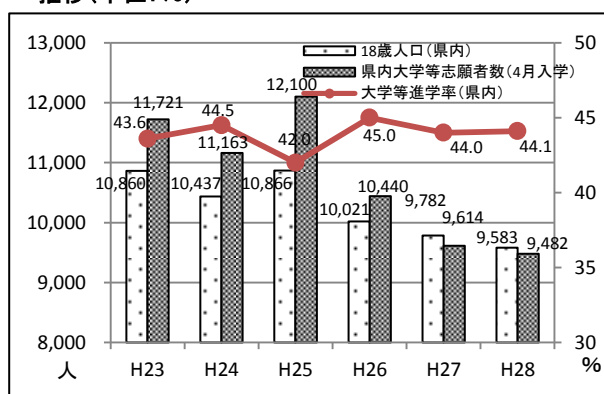
(単位:倍)

| | 基準値(H24) | H26 | H27 | H28 | H29 |
|-----|----------|------|------|------|------|
| 目標値 | 4.61 | 4.70 | 4.75 | 4.80 | 4.85 |
| 実績値 | | 3.85 | 3.80 | — | — |

代表指標の推移



(参考)18歳人口・県内大学等志願者数・大学等進学率の推移(単位:%)



代表指標の達成度に関する分析

- ・県内高等教育機関の平成27年度の志願倍率の実績は3.80倍で、達成率は80.0%となっている。
- ・高等教育機関の志願倍率は、基準年度である平成24年度の4.61倍をピークに低下傾向にあり、大学・短大別では、大学は5.28倍(H24)から4.40倍(H27)に、短大は1.34倍(H24)から0.92倍(H27)に低下している。この間、全国の国公立大学における一般選抜試験の志願倍率も、4.9倍(H24)から4.7倍(H27)へと低下傾向にある。
- ・ここ数年、大学・短大への進学率は、全国・県内共にほぼ横ばいであるが、18歳人口の減少により進学者数は減少傾向にある。これに比例して、県内大学等への志願者数も減少傾向にあり、各大学等の入学定員に変化がないことから、志願倍率は低下傾向にある。
- ・なお、県内の国公立大学については、一般選抜試験において概ね全国平均を上回る志願倍率を維持している。
- ・18歳人口の減少により県内出身進学者の減少が見込まれるとともに、大学全入時代を迎え全国的な大学間競争がますます激しくなっていくことが予想される。
- ・志願者の確保は、県内高等教育機関共通の課題であり、県内外の若者から進学先として選ばれ、地域の発展に貢献できる人材を育成するため、今後、それぞれの特色や強みに更に磨きをかけ、魅力を高めていく必要がある。

【未来を担う教育・人づくり戦略】

●施策5-7の代表指標

①県内高等教育機関への外国人留学生数

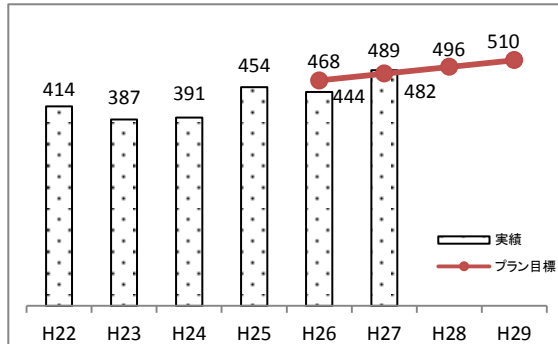
■年度別目標

H27達成率(101.5%)

(単位:人)

| | 基準値(H25) | H26 | H27 | H28 | H29 |
|-----|----------|-----|-----|-----|-----|
| 目標値 | 454 | 468 | 482 | 496 | 510 |
| 実績値 | | 444 | 489 | — | — |

代表指標の推移



②県内高等教育機関から海外への留学生数

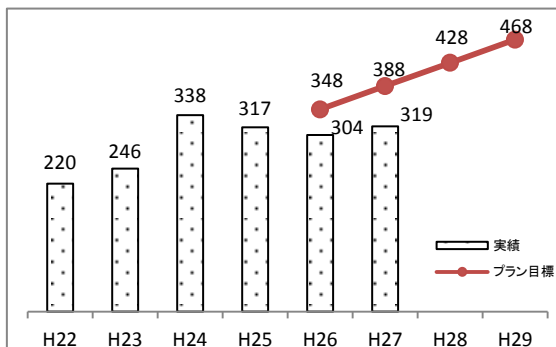
■年度別目標

H27達成率(82.2%)

(単位:人)

| | 基準値(H24) | H26 | H27 | H28 | H29 |
|-----|----------|-----|-----|-----|-----|
| 目標値 | 338 | 348 | 388 | 428 | 468 |
| 実績値 | | 304 | 319 | — | — |

代表指標の推移



代表指標の達成度に関する分析

・県内高等教育機関では、人的交流、学術交流、共同研究などに関する協定を多くの国・地域の大学と締結するなど、それぞれの特色や強みを活かした交流が活発に行われており、県内高等教育機関から海外への留学生数についても目標値まで達していないものの、達成率は8割強となっている。

・県内の高等教育機関ではそれぞれの特色や強みを生かした交流等が活発に行われていることから、今後、県民と留学生との交流が進んでいくものと見込まれる。また、東アジアを中心とした青少年交流などを推進しながら、県民の国際理解の促進につなげていく。